

令和5年度 第3回 大田区SDGs推進会議

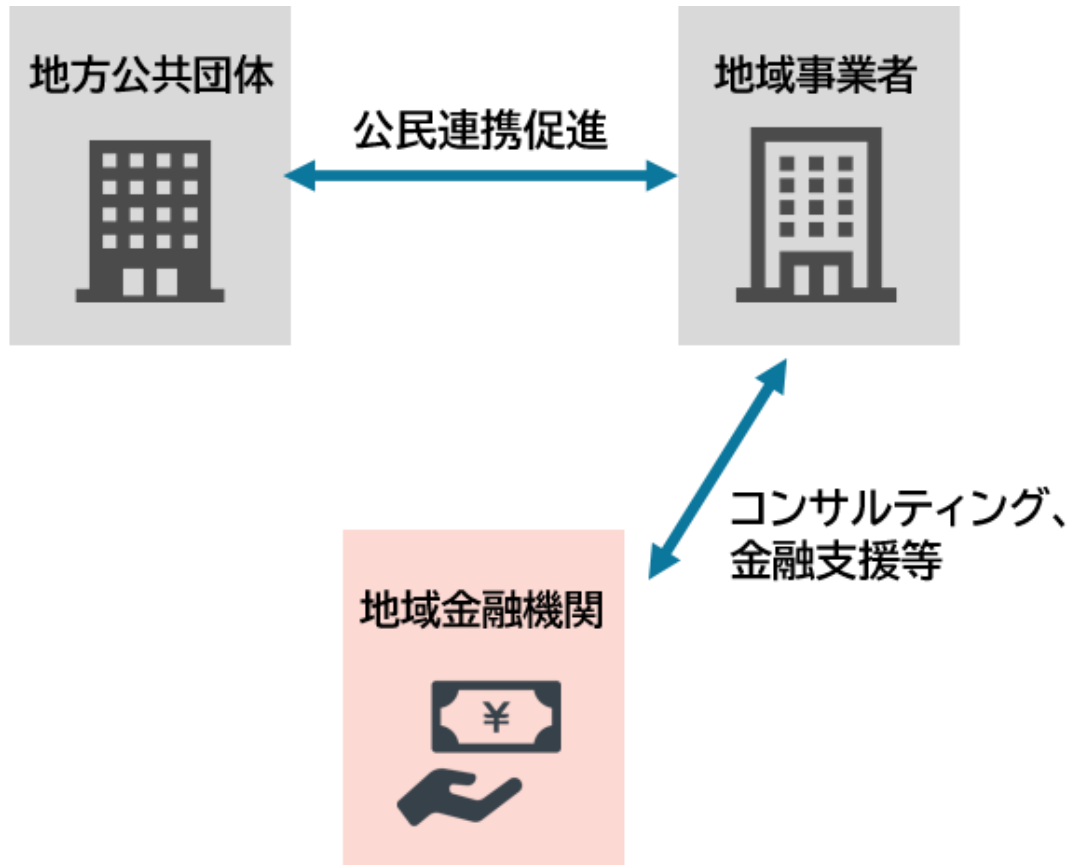
－ 事務局資料 －

1 SDGs認証制度について

1 SDGs認証制度について

SDGs認証制度の概要

【イメージ図】



- 地方公共団体がSDGsに貢献しようとする地域事業者等を「見える化」することで、**対外的なPR効果**の向上による**事業機会の拡大**や**地域経済の活性化**につなげる
- 「見える化」を通じて、地域の金融機関、大学等様々なステークホルダーとの**連携促進**や企業の**さらなるSDGs推進**につなげる

1 SDGs認証制度について

SDGs認証制度の全体像

	宣言	登録	認証
概要	地域事業者等が地方創生SDGsに取り組む意思を宣言する	地域事業者等が地方創生SDGsの取組を表明・自己評価し、登録する	第三者が、地域事業者等の地方創生SDGsの取組を評価し認証する
目的	地方創生SDGsへ取り組んでいる、または今後取り組もうとしている地域事業者等の奨励	地方創生SDGsへ取り組んでいる地域事業者等の奨励	地方創生SDGsへ取り組んでいる地域事業者等に対する金融機関等の支援機会の拡大
被認証主体 (地域事業者等) の要件	地方創生SDGsに取り組む意思及び方針がSDGsの17のゴールと関連付けて明確化されていること		SDGsの169のターゲットに関連した目標及び取組計画が示されていること 目標に向かって取組を推進する能力・体制が整っており、それを第三者が確認できていること

認証を受けた地域事業者等のメリットの例

地方創生SDGs金融調査・研究会
『地方創生SDGs登録・認証等制度ガイドライン2020年度(第1版)』から引用

1 SDGs認証制度について

他自治体における取組事例

01 | 神奈川県川崎市(かわさきSDGsパートナー)

宣言

○

登録

○

認証

—

概要

SDGs(持続可能な開発目標)の達成に向けて取り組む企業・団体の皆様を川崎市が登録・認証する制度。

インセンティブ

- 「川崎市SDGsプラットフォーム※」への参加が可能
※セミナーや交流会等の開催を通じ、SDGsに関する情報やノウハウを共有できる
- 市HP等で団体の取組紹介
- 市融資制度「SDGs取組支援融資」による信用保証料補助
- 市入札契約制度の「主観評価項目制度」における加点 等

宣言・登録団体数 ※令和6年1月時点

3,288団体(宣言480・登録2,808)

※宣言・登録の区分は、地方創生SDGs金融調査・研究会
『地方創生SDGs登録・認証等制度ガイドライン2020年度(第1版)』に基づく。

川崎市 SDGs 登録・認証制度「かわさき SDGs パートナー」のご案内

申請は「かわさき SDGs ポータルサイト」から！



【持続可能な開発目標(SDGs)を支援しています。】

川崎市 SDGs 登録・認証制度
「かわさき SDGs パートナー」のご案内

SDGs(持続可能な開発目標)は、2015年に国連で採択された「2030 アジェンダ」に掲げられた、国際社会全体で取り組むべき世界共通の目標です。
SDGsでは「誰一人取り残さない」ことをキーワードに、国や自治体、企業、市民など全てのステークホルダーが役割を担い、SDGsに掲げられた17のゴールと169のターゲットの達成を目指して取り組むことが求められています。



「かわさき SDGs パートナー」は、SDGs(持続可能な開発目標)の達成に向けて取り組む企業・団体の皆様を川崎市が登録・認証する制度です。
現在、3,288(登録480、認証2,808)の企業、団体、NPO、学校など多様な組織の皆様が登録・認証されています。
「誰一人取り残さない」持続可能な未来を目指して、川崎市や、すでに登録・認証されている事業者の皆様と一緒にSDGsを推進しませんか？応募をお待ちしています！

1 SDGs認証制度について

他自治体における取組事例

02 | 福岡県北九州市(北九州SDGs登録制度)

宣言	－	登録	○	認証	－
----	---	----	---	----	---

概要

SDGsの達成に寄与する市内企業・団体を登録し、その取組を「北九州市SDGs未来都市計画」との関連付けを行いながら「見える化」することで、市内企業・団体等のPR及びSDGsの普及・実践を図る制度。

インセンティブ

- 総合評価落札方式における加点
- 融資制度の適用
- 市HPにおける団体の取組PR
- 金融機関からのSDGsに関する支援

登録団体数 ※令和6年1月時点
648団体

チェックシートの一例

No.	チェック項目	分類
1	温室効果ガスの排出を抑制するため、エネルギーの使用状況の把握や使用効率の改善、再生可能エネルギーの利用などに取り組んでいる	環境 (CO2削減)

⋮

具体的な取組内容
- 使用料を把握し、不要な電気を消すなどのエネルギー利用の効率化を図っている。 - クールビズ・ウォームビズの推進

⋮

最も関連性のある ゴール・ターゲット	最も関連性のある 「北九州市SDGs未来都市計画」 の指標や取組
ゴール	指標
ゴール7	経済(2)④
ターゲット	具体的な取組
7.3	

▶SDGs未来都市計画との紐づけ

1 SDGs認証制度について

他自治体における取組事例

03 | 神奈川県横浜市 (横浜市SDGs認証制度”Y-SDGs”)

宣言	—	登録	—	認証	○
----	---	----	---	----	---

概要

SDGs達成に向けて活動している企業等を「環境」「社会」「ガバナンス」「地域」の4分野・30項目で評価し、取組状況に応じて3つの区分(最上位 Supreme、上位 Superior、標準 Standard)で認証する制度。

インセンティブ

- 「横浜市総合評価落札方式」の評価項目に加点
- 利子補給金制度を活用できる場合がある
- 「SDGsよこはま資金」の対象となる

認証団体数 ※令和6年1月時点

674団体

04 | 愛知県豊田市 (豊田市SDGs認証制度)

宣言	—	登録	—	認証	○
----	---	----	---	----	---

概要

SDGs達成に向けて活動している企業等を「環境」「社会」「ガバナンス」「地域」の4つの分野、約80項目について評価し、評価の高い順にゴールド、シルバー、ブロンズの3つの区分で認証する制度。

インセンティブ

- 総合評価落札方式における入札加点
- 「カーボンニュートラル省エネ生産設備導入促進補助金」の補助率・補助上限額の上乗せ
- 「信用保証料補助制度」の補助率の上乗せ

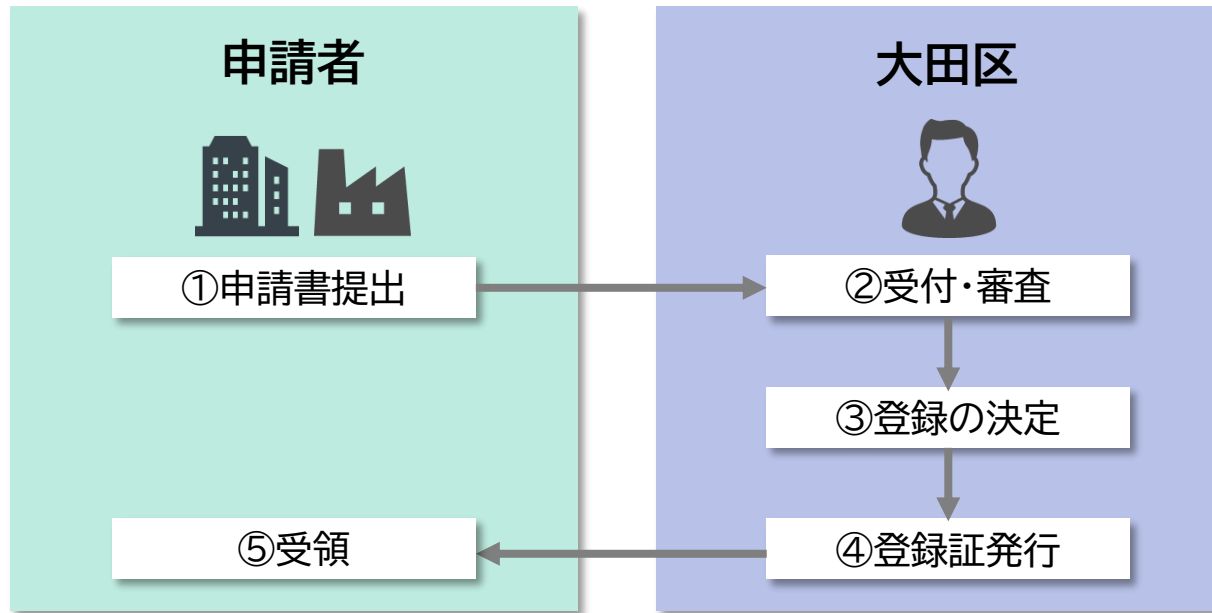
認証団体数 ※令和6年1月時点

43団体

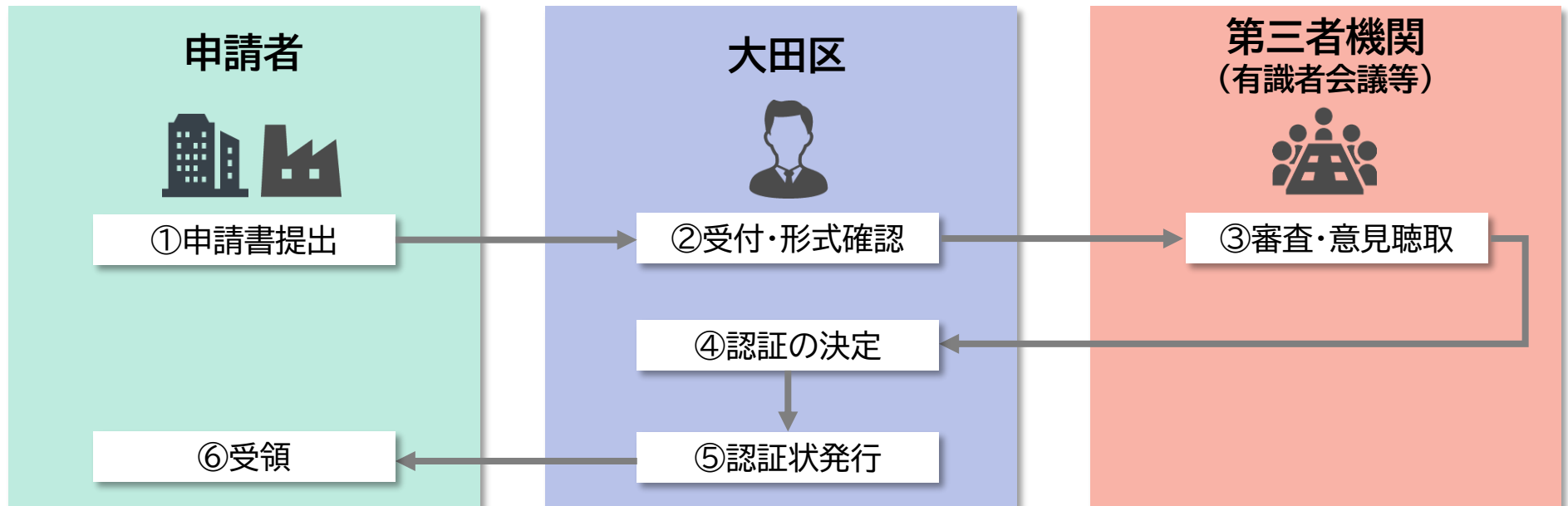
1 SDGs認証制度について

登録と認証の一般的なフロー

① 登録



② 認証



未来都市における2030年のあるべき姿について

経済

01 | 区内産業の「稼ぐ力」が向上し、持続可能な成長を続けるまち

- 【①】区内企業の人手不足の解消や生産性の向上により、長年培われてきたものづくりをはじめとする大田区ならではの技術が失われることなく、更に高度な技術へと磨き上げられている
- 【②】羽田イノベーションシティを起点に、国内外の企業の交流や最先端技術の活用・実装が進み、絶えず新たな産業やサービスが生み出されている
- 【③】羽田イノベーションシティから生まれた新たな産業やサービスが、区内各地域で磨き上げられた匠の技と結びつくことで、新たなイノベーションの創出へとつながり、区内産業の「稼ぐ力が向上」している

環境

02 | 環境と産業が調和した持続可能なまち

- 【①】区内企業にとって、環境に配慮した形での設備投資や事業推進が当たり前となっており、環境を犠牲にすることなく区内産業が成長を続けている
- 【②】周辺自治体や民間企業と連携しながら、水素等の利活用を積極的に推進しており、次世代クリーンエネルギーの利活用という点で他都市のモデルとなっている
- 【③】脱炭素や循環型経済(サーキュラーエコノミー)の意識が、行政のみならず区民や民間企業等にも浸透し、2050年カーボンニュートラルの実現に向けた取組が着実に推進されている

社会

03 | イノベーションの担い手が将来にわたって持続的に生み出されるまち

- 【①】子どもから大人まで、あらゆる世代が多様な学びを享受でき、区内産業やイノベーションの担い手が次々と生み出される環境が整備されている
- 【②】「地域力」を生かした包摂的なサポートにより、出産や子育てに関する不安や負担が解消され、将来にわたってまちの活力(ヒト)を維持していくための確かな基盤が構築されている

1 SDGs認証制度について

認証制度の方向性（認証基準例）

SDGs未来都市計画を軸とした基準例	関連するゴール	SDGs未来都市計画
デジタル化による生産性向上を推進している	8・9	あるべき姿 経済①
稼ぐ力の向上や地域課題解決に繋がる新たなイノベーション創出に取り組んでいる	8・9	あるべき姿 経済②
大田区公民連携SDGsプラットフォームに参画している	17	あるべき姿 経済③
環境に配慮した原材料、部材、什器、備品を使用している	13	あるべき姿 環境①
水素などのクリーンエネルギー活用に向けた取組を推進または検討している	7・9・13	あるべき姿 環境②
3Rに繋がる取組を行っている	11・12・13・14・15	あるべき姿 環境③
教科「おおたの未来づくり」の推進に協力している	4	あるべき姿 社会①
従業員の子育て、介護等の家庭に対する支援を行っている	3	あるべき姿 社会②
おおたフード支援ネットワークの取組に貢献している	1・2・3・12	統合的取組③(参考資料1大田区SDGs未来都市計画 P42)
事業継続や事業承継に関する取組が進められている	8・9	SDGsの推進に資する取組 経済②(参考資料1大田区SDGs未来都市計画 P12)
その他SDGsの推進に資する基準例	関連するゴール	
女性の活躍を支援するための取組がある	5・10	
水の使用量を把握し、水利用の効率化に取り組んでいる	6	
公正な経済取引を行っている	16	

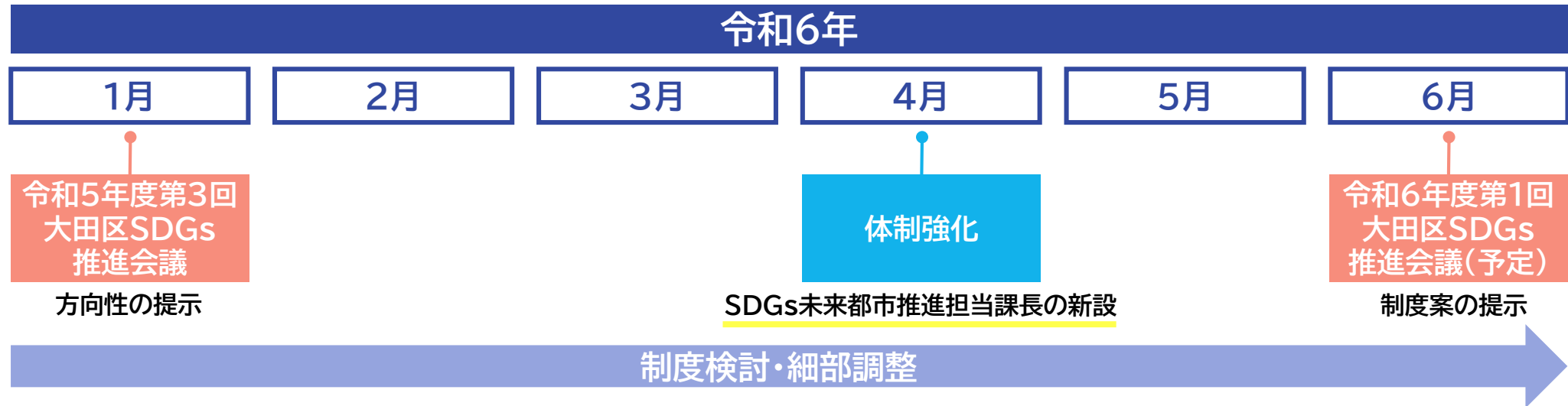
1 SDGs認証制度について

認証制度の方向性（インセンティブ例、今後のスケジュール、参考情報）

■ インセンティブ例

- › 総合評価落札方式における入札加点
- › 区制度融資による支援
- › 区ホームページ等による取組事例の発信 等

■ 今後のスケジュール



■ 参考情報(川崎市ヒアリング結果)

- › 2022年のピーク時には1,000社を超える申請があり、申請内容の確認や通知の郵送対応を職員が手作業で行っていたため、業務量は膨大であった。
- › 2023年1月から「かわさきSDGsポータルサイト」を開設し、本ポータルサイトを通じて申請を受ける運用とした結果、システムで申請内容の形式的な確認や通知を行うことが可能になり、業務量減につながった。

【参考】GXリーグについて

- › GXリーグは、カーボンニュートラルへの移行に向けた挑戦を果敢に行い、国際ビジネスで勝てる企業群が、GXを牽引する枠組み。日本のCO₂排出量の5割以上(EUと同水準)を占める企業群が参画。(568社)
- › 多くの企業が2030年度までの削減目標の設定に留まる中、GXリーグの参画企業は、5年間前倒した2025年度までの野心的な削減目標を設定。足元から、排出量取引も活用しながら排出削減に取り組む企業を後押し。
- › 2023年10月には、カーボン・クレジット市場を開設し、排出量取引に向けた環境整備を加速。
- › また、GXリーグは、GX実現の鍵となる市場創造に貢献する意欲的な企業が集まり、個社の取組のみでは難しいルール形成等について一体的に取り組む場としても機能。

<参画企業に求められる取組>

①自らの排出削減(自ら目標設定、挑戦、公表)

- ◆2050年カーボンニュートラルと整合的な2030年削減目標だけでなく、2025年までの中間削減目標を掲げ、野心的な削減に挑戦。

②サプライチェーン上での排出量削減やGX製品投入

- ◆自らの削減だけでなく、サプライチェーン全体での削減を牽引する。
- ◆使用時の排出を低減する製品など、GX製品を市場投入する。

<GXリーグでの主な活動>

排出量取引の実施

自主設定した目標達成に向けた排出量取引の実施

GX市場創造に向けたルールメイキング

GX製品投入やサプライチェーン上での削減への取組を推進するためのルール形成

意見交換のポイント

- SDGs認証制度の評価基準について
 - ・未来都市計画にどの程度比重を置くべきか
- 認証の仕組みについてご意見
 - ・宣言、登録、認証のどの仕組みで進めていくべきか
- その他、効果的なインセンティブ等制度設計に向けたご意見及び未来都市計画の推進に関するご意見